



中干し延長の実施圃場の面積が前年比10倍以上に増加!!

J-クレジット制度加入で中干し延長(過去2年間平均よりも7日以上延長する)を行った圃場が今年度は5万400haと報道されています。生産者様の手間が少なく、副収入が得られる、温室効果ガスの削減貢献等のメリットがあるため制度利用が急拡大しているようです。

ただし、分げつ確保がしにくく、根量も少なくなるため収量は3%以上低下するのはと危惧されています。また粒サイズなどの品質の低下、カドミウム汚染リスク増大の可能性が高まる等のデメリットもあります。

また、土質や作型により中干し期間は違うのに一律に7日以上延長は乱暴な基準であり、導入には圃場環境の確認が必要です。

あくまで環境保全に軸足のある制度ですので、美味しいお米を沢山収穫するためには向かないことを前提に導入を考慮する必要があります。

安心して中干しを行うために土作りは欠かせない!!

中干し期間の延長に取り組むには基礎的な土作りが必要不可欠です。なぜなら、以下の3つの必須事項を満たさないと減収するからです。



- ①早期分げつ確保が必要 (適切な土壌環境→スムーズな活着)
- ②表層の絶根への回復力が必要 (深い根圏の形成→強い基礎体力)
- ③高温への対策が必要 (無駄な蒸散・呼吸の軽減→高温化での損耗軽減)

土作りにはケイ酸、リン酸、苦土、カルシウム、鉄、マンガンなどの適正な補給が有効です。これらは根張りに影響が大きい栄養素です。特にケイ酸は水稻にとっては最重要栄養素であり、積極的な補給が成否を分けます(土づくりとは堆肥使用だけではないことをご確認ください)。

これらの栄養素が不足すると根圏が小さく、登熟期の活力低下(秋落ち)や倒伏の原因となります。また、一発肥料使用は中干し期間延長により肥効がズレます。本来なら絶妙な水管理でリスク回避するところが長期中干しではそれが不自由です。

有効策としては中干し前の生育、つまり初期生育を一層大切にすることです。(育苗・土作り・初期防除に油断は禁物)

地力アップ・土作りのため、収穫後の秋起こしの際、小粒ちゃん、ソイサポを施し耕しておくことをお勧めします。

来春の準備のため、有機物の投入や藁の分解等、この秋にやっておくことが重要だと思います。

オススメ商品

高濃縮含窒素エコ堆肥

ソイサポ

SOIL SUPPORT

有機土壌の安定を強力サポート!

極め版 泥炭入り含窒素堆肥

(高濃縮含窒素エコ堆肥との併用)

スーパーエコ堆肥 小粒ちゃん

(高濃縮含窒素エコ堆肥との併用)

- 高濃縮含窒素による効力向上・100%有機物由来の堆肥
- 有機質・有機質による低コスト栽培の実現
- 土壌微生物増殖・発酵効果
- 収穫後・苗間・追肥時・圃場整備

当肥料は
塩酸としても
有効です!

川口肥料株式会社

〒437-1416 静岡県掛川市三俣902

☎ 0537-72-2663

川口肥料 HP

松下ライン